

# NO.12 鶴見總持寺と東海道の史跡を訪ねる

つづき発見講座も最終回となりました。OP を加えて14回 良く歩きましたね。

そして最終回は皆さま、良くご存知の總持寺と工都を拓き、浅野学園を開設し、また数多くの事業を創設してきた浅野總一郎の業績をしのび、その一つである鶴見線に乗車、海芝浦駅を楽しんでいただきます。

コース: 新子安駅 ⇒ 浅野学園 ⇒ (キリンビール) ⇒ 生麦事件碑 ⇒ A/B 班は第一国道に沿って鶴見線**国道駅** C 班は生麦駅より京浜急行で**鶴見駅**へ向かいます



C 班は JR 鶴見駅より 11:00 発の鶴見線に乗車、A/B 班は**国道駅**より 11:02 発の電車に乗車し全員合流します ⇒ 海芝浦駅 ⇒ 国道下車 鶴見駅まで徒歩 または鶴見駅 ⇒ 歯科大学にて昼食 ⇒ 總持寺 ⇒ 鶴見駅解散(1時半～2時頃)



上 JR 新子安駅と京急新子安駅が向かい合っています

JR 横浜駅の4番線から乗車し、二つ目の新子安で下車、JR の線路のブリッジを渡り、少し先を右折(スナック桃太郎角)突き当たって右へ、ゆるい坂を上りきった左側に浅野学園の正門があります。守衛に会釈をして坂を上り、直ぐに左へ曲がり、上ったところに、この地を拓いた浅野総一郎の銅像が鶴見一帯を見下ろしています。銅像前の広場からの見晴らしは、桜の季節は最高でしょう。銅像の背面には翁が起こした多くの事業の数々が刻されています。まさに明治の開拓者であった渋沢栄一に匹敵する業績です。

もと来た道を下り正門を出ると眼下に展望が開け、遥か下には JR の線路が何本も走っています。バスもありますが通学バスみたくで時間外は1時間に1本です。道を左にとり、下りきったところを右折、JR と京急の踏切を渡り、国道1号線に出ます。信号を渡り左へ進むと前方



に「横浜環状北線」の工事が道路をまたいでいます。その下をくぐると右にキリンビールの横浜工場があります。今回は中をちょっとだけ覗いて通過します。見学コースや試食・試飲コースなどもありますが、団体の場合は予約が必要です。

国道に出ると直ぐに右側に旧道があります。旧道を200mも行くと「生麦事件碑」がひっそりと建っています。現在のは高速道路の工事のため仮設となっ

ています。完成後は少し前方に移動するそうです。そして国道に戻ります。A/B 班はそのまま国道を品川方面に進み鶴見線「国道駅」まで歩きます。C 班は国道を信号(明神前)で渡って直進、京急に突き当たって右折し生麦駅より乗車、鶴見駅に向かいます。



↑ 浅野総一郎像と浅野学園正門 →



A/B 班は国道駅より 11:02 分の電車に乗車、  
C 班は京急鶴見駅で鶴見線に乗り換えます。  
11:00 分発の海芝浦駅行です。次の国道駅で  
A/B 班に合流します。



丘の下を走る JR の線路と横浜環状北線の工事現場



麒麟ビール横浜工場

終点の海芝浦駅のホームの反対側は運河に  
面していて、正面に東京ガス、首都高速湾岸  
線のつばさ橋その右手が大黒ふ頭です。  
大型の船がタグボートに曳かれて入港してき  
ます。ボートに乗った釣り人が糸を垂らしてい  
ます。ホームの先端に可愛い小さな「海芝公  
園」があります。小休止するうちに折り返しの  
電車が発車します。



生麦事件の碑

鶴見の一つ手前の国道駅で下車しましょう。  
国道1号線の上に来たのが駅名の由来です。  
高架を支える支柱の一部に昭和20年4月の  
空襲で受けた弾痕が残っています。国道を渡  
り、鶴見線に沿って進みます。京急の線路に突  
き当たって右折、突き当たってガードを潜り  
抜けて JR の線路を渡ります。この橋には両側

に EV があるので、これを利用しましょう。 EV を出ると正面が総持寺です。



鶴見線に沿って進みます

正面左手には歯科大学のキャンパスです。ここの学生食堂で小腹を満たしていきましょう。



歯科大学の食堂メニューと380円のアナゴ蕎麦



さて、最後の總持寺です。広大な境内に圧倒され、紅葉を楽しみながら奥へと進みます。



境内の一番奥に墓地があります。広大な敷地一杯に広がり、案内なしには目的地へ到達できません。「中央八」のところに浅野家の墓所があります。100坪近い面積の中に一族の墓を設けるのでしょうか。そして少し戻った「西望一」の区画に石原裕次郎のお墓を発見しました。年中お花が切れないそうです。また前田青邨・水原茂・広川弘禅・芦田均・川上音二郎等の墓もあります。



↑ 石原裕次郎の墓

↓ 浅野家の墓所

↓ 一風変わったお墓です



お墓を下ったところに大駐車場があり、その一角には昭和38年に起きた鉄道事故(鶴見事故)の160余名の慰霊碑や歯科大学の検体供養の墓などもあります。また山門の脇の小高いところに3.11の犠牲者の慰霊の碑もあります。本日は JR 鶴見駅で解散です。お疲れさまでした！

この講座の最終回は12月9日(水)です。今年度の総括と次年度のお話をさせていただきます。

今回のガイドで、運営委員の小松崎さんが作られた「鶴見川歴史紀行」の中から、このコースに因んだ俳句を幾つか紹介いたします。

## 海拓き 工都育てし 浅野翁

浅野学園の丘に翁の巨大な像が自ら埋め立てた鶴見の海を見下ろして立っています。一代で築いた財閥の関連会社にはセメント・製鉄・造船・陸海運・石油・鉱山・貿易・銀行等56社に及びます。

## 生麦の 噂 海道 ひと走る

幕末の文久2年(1862年)に薩摩藩主島津久光一行が帰国の途路、生麦村で騎乗のイギリス人と遭遇、無礼うちにした事件で、後に薩英戦争を引き起こしました。

## 賑やかに 大蛇 往来 練り歩く

毎年6月第一日曜に行われるお祭り。厄除けと稲作の雨乞と子供の健やかな成長を祈願する節句祝いも兼ねた生麦の伝統行事です。萱で長さ15間、胴回り3尺の蛇体を作り、大勢の担ぎ手が各家の門に首を差し入れながら練り歩くお祭りです。

## 禅寺や 目元涼しき 修行僧

總持寺は石川県能登より鶴見に移転して100余年になります。境内は10万坪、巨大伽藍に圧倒されます。ここは禅宗の修行道場であり、早朝の「暁天座禅」から始まり、朝課・食事・作務(清掃)と雑念を挟む余地のない日常生活を送っています。

## 空襲の 弾痕残す 駅舎かな

昭和20年4月15日の空襲で被災し、死者972名、焼失家屋5万2千戸を出しました。

## レトロ調に アーチも撮らむ 国道駅

昭和5年 鶴見臨港鉄道の開通と同時にその始発駅として開業。国道1号線の真上に作られました。生麦魚河岸へと延びるアールデコ風の駅舎はモダンなもので、構内には臨港デパートも開業し多くに人で賑わったといひます。



\* 地図上の桜のマークは訪れる主要ポイント